

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	交通安全対策の充実		電話番号	087-839-2555
	基本事業	交通安全教育・啓発の推進		事業実施主体	市
	事務事業	交通安全教育等推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	幼稚園、保育所、こども園、小・中学校等において、歩行教室や自転車安全運転教室などの交通安全教室を開催するほか、高齢者等を対象とした反射材教室、高齢者教室などの交通安全教室を開催する。また、交通安全意識の向上を図るため、関係機関・団体等と連携して、交通安全運動の展開や街頭キャンペーンなど交通安全の啓発活動を実施する。				
6年度概要	交通指導員、事務員人件費 交通安全都市推進協議会補助金、交通安全母の会連絡協議会ほか1団体 補助金 その他(幼、保、こ、小・中交通安全教室、高齢者等交通安全教室の開催など)				
重点取組事業	市長マニフェスト	4-	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象(何を)	幼稚園、保育所、こども園、小・中学校の幼児、児童、生徒 地域の交通安全指導者 老人クラブ会員等
意図(どのような状態にしたいか)	幼児、児童、生徒に交通安全の基礎知識を身に付けてもらう。 地域の交通安全指導者に交通安全や街頭指導の知識を習得してもらい、指導者を通じて地域へ波及させる。 高齢者に交通安全の知識を身に付けてもらう。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
幼稚園、保育所、小学校、中学校での交通安全教室の開催数	回	318	355	228	250	380
高齢者交通安全教室等の開催数	回	1,703	1,303	1,249	1,320	1,520

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
幼稚園、保育所、小学校、中学校交通安全教室参加者数	人	目標値	36,000	36,000	36,000	15,000	36,000
		実績値	19,102	20,420	15,667		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 幼稚園・保育所の交通安全教室の回数を減らしたことなどにより、目標値の約44%程度に留まった。		(目標達成度)					(達成度) 43.9%
							15点
高齢者交通安全教室等参加者数	人	目標値	5,000	5,000	5,000	2,500	5,000
		実績値	2,150	2,008	1,893		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 交通安全フェアや交通安全教室等の規模を縮小したことなどにより、目標の約38%程度に留まった。		(目標達成度)					(達成度) 37.9%
							13点

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
トータルコスト	[千円]	42,425	40,841	46,440	50,234
(事業費)	[千円]	23,550	22,131	27,622	31,416
(職員人件費)	[千円]	18,875	18,710	18,818	18,818

【評価】

評価ランク (A~D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	改善継続
-------------	---	---------------------------	------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

今年度、高齢者向けの体験型学習等を取り入れるも、高齢者の集客に繋がることが出来なかった。今後については、高齢者運転免許証返納促進事業で長寿福祉課が実施する65歳からのプラチナ世代元気応援事業と連携をする中で、夜間歩行者による反射材の着用等、交通安全啓発を促す広報活動について、長寿福祉課と協議、検討をする。交通安全教室の実施内容については、体験型学習を増やすなど、参加した市民が理解、実践しやすい方法を工夫する。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

高齢者運転免許証返納促進事業で長寿福祉課が実施する65歳からのプラチナ世代元気応援事業と連携をする中で、夜間歩行者による反射材の着用等、交通安全啓発を促す広報活動について、長寿福祉課と協議、検討をする。交通安全教室の実施内容については、体験型学習を増やすなど、参加した市民が理解、実践しやすい方法を工夫する。

令和 6年度（ 5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	交通安全対策の充実		電話番号	087-839-2555
	基本事業	交通安全教育・啓発の推進		事業実施主体	市
	事務事業	交通安全啓発推進事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	交通安全フェアの開催や交通事故死ゼロを目指す日一斉キャンペーンなど、市内統一街頭キャンペーンを開催することで、交通安全に対する意識向上を図り、交通事故防止を促進する。				
6年度概要	一般管理経費				
重点取組事業	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

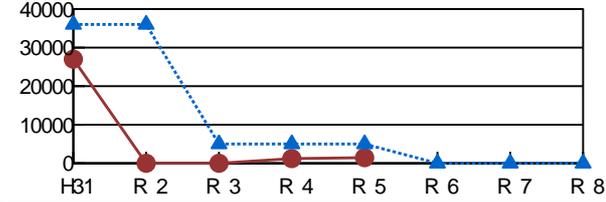
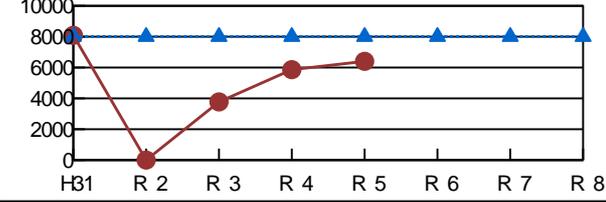
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	交通安全意識や交通ルール、マナーを守る意識を広める。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
交通安全フェア開催日数	日	0	1	1	0	1
統一街頭キャンペーン実施回数	回	2	3	3	3	3

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
成果指標	交通安全フェア参加者数	人	目標値	5,000	5,000	5,000	0	5,000
	実績値	0	1,217	1,450				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和 4 年度に引き続き、フラワーフェスティバルと合同で行っていた交通安全フェアを単独開催し、規模を縮小して行った。							(達成度) 29.0% 10点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標どおり、3回の街頭キャンペーンを実施し、参加人数についても、新型コロナウイルス感染症の影響以降、年々参加者は増加してきており、目標の 80% まで回復してきた。							(達成度) 80.0% 28点

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	10,720	10,626	10,947	10,756
（事業費）	[千円]	150	148	409	218
（職員人件費）	[千円]	10,570	10,478	10,538	10,538

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

交通安全フェアは、開催時期、場所を変更し、交通事故が多い高齢者等を対象に、交通安全に関して実際に体験できるコーナーを設けるなど見直しを行った。
また、交通安全統一キャンペーンは、広く市民に認知され参加者も多く、交通安全事業としての意義も大きいことから、継続実施することが妥当である。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

交通安全フェアについては、課題達成や会場問題の関係より現行のやり方を見直し、他の啓発事業との連携を検討する。また、交通安全統一キャンペーンについても、交通安全事業としての意義も大きいことから、継続実施することが妥当である。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	市民局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	くらし安全安心課
	施策	交通安全対策の充実	電話番号	087-839-2555	
	基本事業	交通安全教育・啓発の推進	事業実施主体	市	
	事務事業	高齢者等交通安全啓発推進事業	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者に、加齢による身体能力の低下の自覚と危険予測の考え方を身に付けてもらえるよう、参加体験型の交通安全教育の普及に努めるとともに、高齢者の自主的な運転免許証返納の促進策として、ICカード乗車券を交付することにより、高齢者が関与する交通事故の減少を図る。				
6年度概要	高齢者運転免許証返納促進事業 ことでのんイルカード、J Rイコカカード、タクシー現金チケット（1万円×1、261件）など 備品購入（信号機） 高齢者等交通安全教室				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の種類	ソフト事業（法律による実施義務有）

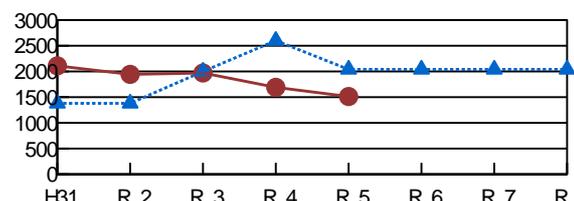
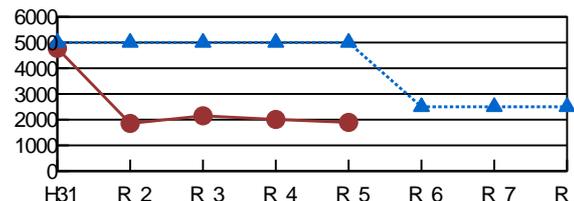
【事業の目的】

対象（何を）	高松市の高齢者（65歳以上）
意図（どのような状態にしたいか）	運転免許証の自主返納により、高齢者が当事者となる交通事故が減少する。 体験型の交通教室の実施により、高齢者自身が加齢による身体能力の低下を自覚し、危険予測の考え方の普及や交通安全知識の向上が図られる。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
高齢者交通安全教室等の開催数	回	1,703	1,303	1,249	1,320	1,520

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
成果指標	65歳以上の運転免許証自主返納者数	人	目標値	2,000	2,600	2,040	2,040	2,040
	実績値	1,970	1,691	1,512				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和5年度の運転免許証自主返納者数は、目標値の約74%に留まった。 			 <p>（達成度） 74.1% 25点</p>				
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 交通安全フェアや交通安全教室等の規模を縮小して行ったことなどにより、目標値の約38%に留まった。 			 <p>（達成度） 37.9% 13点</p>				

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度（決算）	令和4年度（決算）	令和5年度（決算）	令和6年度（予算）
トータルコスト	千円	21,100	18,642	18,616	17,700
（事業費）	千円	17,325	14,900	14,852	13,936
（職員人件費）	千円	3,775	3,742	3,764	3,764

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

自主返納の普及チラシを窓口や関係団体等へ配布をした。
更なる高齢者の運転免許証の自主返納を促すため、長寿福祉課が実施する65歳からのプラチナ世代元気応援事業との連携など、効果的な周知啓発に努めるほか、関係団体等との連携を図る。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

更なる高齢者の運転免許証の自主返納を促すため、長寿福祉課が実施する65歳からのプラチナ世代元気応援事業との連携など、効果的な周知啓発に努めるほか、関係団体等との連携を図る。